

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月30日

【評価実施概要】

事業所番号	4570300618		
法人名	有限会社つだ福祉サービス		
事業所名	グループホーム四季の音		
所在地	宮崎県延岡市東浜砂町1 1 1 4番地 (電話) 0982-28-2727		
評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会		
所在地	宮崎県宮崎市原町2番2 2号		
訪問調査日	平成20年9月17日	評価確定日	平成20年10月30日

【情報提供票より】 (平成20年8月16日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成13年11月11日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤8人, 非常勤1人, 常勤換算8人	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,500 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	400 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(平成20年8月16日現在)

利用者人数	9名	男性 3名	女性 6名
要介護1	1	要介護2	1
要介護3	4	要介護4	2
要介護5	1	要支援2	0
年齢	平均 80歳	最低 71歳	最高 96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	長沼医院、延岡保養園、グリーンヒル歯科
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

のどかな田園風景の中にあり、周囲の田畑からは四季折々の作物の収穫を目にする事ができ、季節感のあふれる中でゆったりと生活できるホームである。ホームの理念においても利用者の傍らで寄り添うケア、地域と家族と共に支援することが管理者、職員において共有されており、実践されている。また、ホーム内・外の研修会にも参加しており、常にケアにおいて向上心を持ち考慮されている。利用者、職員の表情からもゆったりと、穏やかに過ごされていることがわかるホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価で課題となった項目は改善されており、今回の評価においては改善課題はない。災害対策、研修会において、より良いケアについて考慮されていることがうかがえた。
重点項目①	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員で自己評価に取り組み、管理者、職員の意識も高くホーム内での話し合いも持たれ、運営推進会議でも検討される等、より良いケアとなるような取り組みがなされている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議では、利用者代表、地域の代表、市の職員も参加され、ホームの現状報告、年間計画、災害対策などが話し合われている。災害対策では、地域の方のかかわりなども話し合わせ、取り組まれている。運営推進委員の方がボランティアとして来訪されるなど、会議を生かした取り組みがなされている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族の来訪時には必ず要望等を聞くように職員間で心掛け、遠方の家族においても年に2回は必ず来訪されるシステムとなっている。また、苦情が出た場合においても会議にてすぐに話し合わせ、対応がされており、申し送りにて全職員が共有する仕組みがあり、質の向上に努めている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の行事にも参加し、運営推進会議を通してホームの行事への参加、ボランティアの受け入れを行っている。また、地域の学校の生徒の受け入れも行っており、地域との連携が図れている。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者の傍らに常に寄り添い、利用者、家族の要望に答え支えていき、地域との交流を持ち支援していくことが念頭におかれた理念が作られている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	わかりやすく目に付くところに、さりげなく掲げられており、職員も常に気にかけている。また、毎朝のミーティング等でも話し合われ、共有されている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	週間行事予定が立てられ、運営推進会議で地域への発信を行い、ホーム内での行事等にて地域の方が講師となり習字や団子作りを行っている。また、地域の行事への参加を行い、地元の人々との交流が図られている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員で自己評価を行い、毎月の会議で話し合われるなど管理者、職員が意義を理解し、改善の実施に取り組んでいる。		

宮崎県延岡市 グループホーム四季の音

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ホームの現状報告等、季節に応じた問題点などが話し合われ、地元の大学教授などからのアドバイスも頂く等、サービスの向上に生かされ取り組まれている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	現在の課題などを福祉課に相談し、地域の避難場所の話し合いなど随時、市との連携が図られている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、各家族それぞれへあてて便りを出し、その便りにて献立、状況報告がなされている。また、入金のために、毎月1度は来訪されるようになっており、家族の来訪時においても随時、近況報告がなされている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪時には必ず要望、意見を聞くように心掛けており、職員間でも苦情等を受け止めるような体制作りを心がけ、改善されるような対応ができています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	レクリエーション等で行き来のある併設のデイサービスからの異動を行っており、利用者の顔なじみの職員の異動が行われ、配慮がなされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な研修会が行われており、研修に参加しやすい体制作りができています。また、復命書の作成、回覧による伝達もされています。同グループ内の教育委員会を設けて、より充実した内容での勉強会などの計画もなされています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム研修会に参加し、同業者間との電話連絡をとるなど、サービスの質の向上に努めている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に事前に来訪して頂いたり、職員が訪問するなど なじみの関係作りを行っている。また、併設のデイサービスからの利用を行うなどの工夫もなされ、場の雰囲気に徐々に馴染めるように相談しながらの工夫がなされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は常に寄り添いながら食事を共にし、お茶を一緒に頂き、家庭的な雰囲気作りに努めている。魚のおろし方を学ぶなど支えあう関係作りを築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	食事やお茶を共に行う中で、利用者一人ひとりとの会話の中で要望、希望や意見を聞き取るように常に心掛け、本人本位となるように取り組んでいる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族や本人にも要望、希望を聞き、朝夕のミーティングや会議等で話し合いを行い、毎月のモニタリングにて利用者本位の介護計画が作成されている。また、申し送りにて職員間の共有も図られている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	朝夕のミーティングや毎月のモニタリングにて状態の把握に努め、計画内容の変更時には必ず会議が開かれ、現状に即した介護計画の見直しがなされている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院介助、買い物、ドライブなど季節に応じた行事を行い、本人、家族の希望、要望に応じた柔軟な支援ができています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	掛かりつけ医、認知症専門医の受診が本人、家族の希望を踏まえ、定期的に支援されている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期の支援の必要性は考えられており、体制作りに努めている。重度化した場合は、家族と相談しつつホームでの看取りも伝え、医療関係施設、福祉施設への案内が行っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員一人ひとりが利用者への言葉掛け、対応に十分に気をつけており、利用者の尊厳が守られている。また、個人情報の取り扱いにも十分注意がされている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者との会話の中で本人の意向に気をつけ、本人本位となるよう利用者に合わせ買い物や受診、読書など、一人ひとりのペースに合わせた支援がされている。		

宮崎県延岡市 グループホーム四季の音

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	お茶の時間に利用者に好みを尋ねる等、健康に留意した食事を提供している。また、利用者と共に準備、後片づけをし、一緒に食事を楽しむ支援がされている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の体調には十分に気をつけ、ほぼ毎日の入浴支援が午後に行われている。希望により午前の入浴も実施されており、利用者に合わせた入浴の支援がなされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴に合わせ包丁研ぎ、日曜大工、食事の準備など役割、楽しみごと、気晴らしの支援がなされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	病院受診や買い物、ドライブに出かけるなど本人の希望や要望を聞き外出がされている。また、ホームの畑へ季節の野菜を収穫しにでかけるなどの支援が行われている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、鍵は掛けられておらず、職員は利用者の行動を常に把握しており、鍵を掛けないケアに取り組んでいる。		

宮崎県延岡市 グループホーム四季の音

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	市の開催する年2回の災害対策訓練に参加し、ホームにおいての訓練も実施され、運営推進会議などで地域の方や、消防にも協力を依頼している。24時間看護体制も取られている。また、宿直体制も考慮されている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事量はカロリー計算され、水分摂取量においては特に気を配りチェックがされており、一人ひとりの状態に応じた支援がなされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は清潔に保たれ、生花や利用者の書かれた習字などが飾られ、音や光においても違和感なく居心地良く、和やかに過ごせる雰囲気になるよう工夫されていた。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室においては、自宅で使用されていたなじみの物が持ち込まれ、家族の写真なども飾られて、利用者が居心地良く過ごせるような工夫がなされていた。		

※  は、重点項目。